

長与町版 架け橋期カリキュラム【アプローチカリキュラム】（5歳児）

時期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幼児の姿・しぐさ・力	知識及び技能	自分の思いや考えなどを相手にわかるように伝える。											
	思考力・判断力・表現力等	考えたり、試したりして、友達と遊ぶことを楽しむ。/遊びの中での不思議に気づき、聞いたり、調べたり、試したりするようになる。/目的に向かって、実現するための方法を考えて遊ぶ。											
	学びに向かう力・人間性等	年長児になった喜びと意欲をもって生活しようとする。/みんなが気持ちよく生活するために必要なことに気づき、協力しようとする。/就学に期待をもち、自信をもって生活しようとする。											
取り組み活動	★ねらい	<p>【製作】 ★いろいろな素材を使って、自分のイメージの物を作り、表現することを楽しむ。 ★道具の使い方を理解して正しく使う。 ★細かい作業を通して、手先の器用さを高める。 ★友達のアイディアを聞き、自分の作品に取り入れる等、相互に影響し合う。 (例) 絵(絵の具)、工作、折り紙</p>	<p>【集団遊び】 ★体を思いきり動かしながら、友達と考えを出し合い、協力して遊びを楽しむ。 ★友達と一緒に取り組む中で、友達の気持ちを感じたり、自分の力を伸ばしたりして、経験を遊びに取り入れる。 ★ルールを守って安全に遊ぶ。 (例) 鬼遊び、ドッジボール、サッカー、水遊び、だるまさんが転んだ、フルーツバスケット</p>	<p>【ごっこ遊び】 ★友達とイメージを共有しながら、遊びをすすめ、言葉のやりとりを楽しむ。 ★文字や数、表示などを使って、遊びに必要なものを用意したり、役割を伝え合ったりして遊ぶ。 (例) 買い物ごっこ、郵便屋さんごっこ</p>	<p>【栽培】 ★野菜や花を栽培し、育てる楽しさや大変さを味わい、生命力・命の尊さを認識する。 ★友達と一緒に収穫した喜びを味わい、食べ物への関心を高める。 ★自然に触れる経験の中で、責任感を養う。 (例) 夏野菜や花の苗植え、芋ほり、みかん狩り、クッキング</p>								
指導上の配慮事項	保育者のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ●みんなで一つのことに取り組む楽しさを伝え、頑張っている姿を認め、あきらめずに挑戦していくことの大切さを知らせていく。 ●生活の中で感じたことや考えたことを自由に表現する機会を設ける。 ●話し合いをしたり、子どもたち自身でルールを作ったり、遊びを発展していけるよう援助する。 ●互いの思いや考えが伝わりにくい場合は、互いの考えが理解できるよう仲立ちする。 ●ルールがある遊びを提供し、その場面にあった声かけをする。 ●小学校生活に期待をもてるような環境づくりや声かけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども同士で励まし合い、認め合えるように見守っていく。 ●子ども同士の関わりやつながりのきっかけになるような声かけをする。 ●一人一人の気付きや感動に共感し、体験を深めたり、思考が広がる手助けをしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな素材・道具の正しい使い方を伝える。 	<p>学びに向かう力、人間性など</p> <p>知識及び技能</p> <p>思考力、判断力、表現力など</p>								
	環境(もの・こと)の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ◆イメージが共有しやすいように実際に見せたり、掲示物や図鑑を用意したりして、子ども同士がやりとりできるように配慮する。 ◆文字や数、生活に必要なものを使って遊べる環境を用意しておく。 ◆園外活動や絵本などを用いて、自分ととりまく環境について知り、体験できるようにする。 ◆一人一人の活動への多様な取り組みを受け止め、知的好奇心や探求心が満たされるように豊かな環境を整える。 ◆遊びにつながるような素材や用具を用意し、子どもが自由に使えるように設定する。 ◆自分たちで遊びに必要なものをそろえることができるように、道具や材料を十分に準備する。 ◆準備や片付けを自分たちでできるように、所定の場所を用意したり、表示をしたりする。 ◆時計を見て行動できるように、時間の目安を示しておく。 											
幼児期のおわりまでに育てほしい10の姿	<p>1 健康な心と体 2 自立心 ★ 3 協働性 4 道徳性・規範意識の芽生え 5 社会生活のかかわり</p> <p>6 思考力の芽生え 7 自然との関わり・生命尊重 8 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ★ 9 言葉による伝え合い 10 豊かな感性と表現</p>												
幼保小連携	<ul style="list-style-type: none"> ・連携推進協議会 ・学校訪問 ・園訪問 ・小学校との交流 ・入学説明会 ・連携推進協議会 												
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てや子どもとの関わり方についての悩みを受け止められる関係を築いていく。 ●同年代の子どもを持つ親同士で、子育ての悩みを言い合ったり、情報交換をしたりする機会を作る。 ●幼児教育と小学校教育のつながりや「架け橋期カリキュラム」等についての理解の促進を図る(園通信、入学説明会、ホームページなどで周知、啓発) ●行事や活動の中で頑張ったことを認めてもらい、今後の活動へ自信をもってつなげられるようにする。 ●子どもの成長を共に喜び、安心して入学を迎えられるように支援していく。 												